

大分工業高等専門学校	開講年度	平成30年度(2018年度)	授業科目	微分方程式				
科目基礎情報								
科目番号	30M304	科目区分	一般 / 必修					
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1					
開設学科	機械工学科	対象学年	3					
開設期	前期	週時間数	2					
教科書/教材	齊藤 純一 他, 「新微分積分II」・「新微分積分II問題集」, 大日本図書							
担当教員	藤本 敦寛							
到達目標								
(1)工学や自然科学に現れる現象に対して、微分方程式を立てることができる。(定期試験と課題) (2)基本的な1階微分方程式を解くことができる。(定期試験と課題) (3)基本的な2階微分方程式を解くことができる。(定期試験と課題)								
ルーブリック								
評価項目1	理想的な到達レベルの目安 工学や自然科学に現れる簡単な現象に対して、微分方程式を立てることができ、その解を求めることができる。.	標準的な到達レベルの目安 工学や自然科学に現れる簡単な現象に対して、微分方程式を立てることができ。.	未到達レベルの目安 工学や自然科学に現れる簡単な現象に対して、微分方程式を立てることができない。					
評価項目2	1階微分方程式の(一般)解を求めることができ。特に、変形分離系や、同次系について求めることができます。	基本的な1階微分方程式の解を求めることができる。	基本的な1階微分方程式の解を求めることができない。					
評価項目3	基本的な2階微分方程式の解を求めることができ、さらに連立微分方程式や非線形な2階微分方程式の解を求めることができる。	基本的な2階微分方程式の解を求めることができる。	基本的な2階微分方程式の解を求めることができない。					
学科の到達目標項目との関係								
学習・教育到達度目標(B1)								
教育方法等								
概要	1階および2階の微分方程式の解法を学ぶ。特に2階微分方程式については線形微分方程式を中心に学ぶ。 関連科目：基礎数学I・II, 微分積分I・II, 線形代数, 応用数学II							
授業の進め方・方法	黒板を用いた対面授業の手法をとる。基本的な1階および2階の微分方程式の解を求める手法を学ぶ。 課題ノート・課題プリントは、指定された提出日を厳守し必ず提出すること。							
注意点	総合評価： 達成目標の(1)～(3)について2回の定期試験と課題で評価する。 総合評価=2回の定期試験80%+課題20%とする。 総合評価が60点以上を合格とし、総合評価が40点以上60点未満の場合は再試験を実施する。なお、出席状況・授業中の態度により10%を上限として減点することがある。							
評価								
授業計画								
	週	授業内容	週ごとの到達目標					
前期	1stQ	1週	微分方程式の意味 微分方程式の解					
		2週	変数分離形					
		3週	同次形					
		4週	1階線形微分方程式					
		5週	2階微分方程式の解					
		6週	2階線形微分方程式					
		7週	定数係数齊次線形微分方程式①					
		8週	定数係数齊次線形微分方程式②					
後期	2ndQ	9週	前期中間試験					
		10週	定数係数非齊次線形微分方程式①					
		11週	定数係数非齊次線形微分方程式②					
		12週	いろいろな線形微分方程式①					
		13週	いろいろな線形微分方程式②					
		14週	線形でない2階微分方程式					
		15週	前期期末試験					
		16週	前期期末試験の解答と解説					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週			
基礎的能力	数学	数学	微分方程式の意味を理解し、簡単な変数分離形の微分方程式を解くことができる。	3				

				簡単な1階線形微分方程式を解くことができる。	3	
				定数係数2階齊次線形微分方程式を解くことができる。	3	

評価割合

	試験	課題	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	50	15	65
専門的能力	20	5	25
分野横断的能力	10	0	10